

# 被災自治体への派遣業務に志願して

## 1. はじめに

本年3月11日に発生した東日本大震災にて被害に遭われた方、今も避難生活を余儀なくされている方に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方に衷心よりお悔やみ申し上げます。私自身も東京での震災による混乱や、報道等で東北の被災地の惨状を目の当たりにし、行政官として何かできることはないかと考え、経済産業省が行っている被災自治体への派遣業務を志願し、4月18日から5月1日までの二週間という非常に短い期間ではありましたが、派遣職員として被災自治体へ赴任いたしました。

## 2. 現地概況

私の派遣先は、福島県双葉郡広野町の役場機能が移転している、福島県いわき市のいわき湯本にある工場跡地に設けられた役場支所です。広野町は福島第一原子力発電所から20km以遠30km以内の間に位置する「緊急時避難準備地域」にあたります。緊急時に避難できる体制ができていれば、町へ戻ることはできるのですが、子供や妊婦など放射線の影響を受けやすい方には引き続き避難をお願いしていること、町の下水道処理施設が津波により被害を受け、上下水道が復旧していないこと、原発事故の収束が見えないこと等から、広野町は30km以遠への自主的な避難を呼びかけており、今も町民のほとんどが町外での避難生活をされています。また、下水道処理施設に限らず、町の海岸沿いの集落は大規模な津波の被害を受け、家屋の全壊・半壊等の被害を受けました。

## 3. 業務概要

私が広野町役場で行った業務は、主に二つあります。一つは、震災に伴って増加した役場業務の支援です。支

援すべき業務は、避難した町民の居所確認、被害状況の確認、罹災証明書の発行、支援物資の受け入れ、各世帯に対する義援金・補償金の配布等、震災によって新たに発生する業務ではありません。住民票の発行や保険証の更新等、役場が通常から行っている業務も震災によって処理件数が増大し、町役場の職員だけでは到底処理しきれない量の業務が山積しています。私達派遣職員はそのような状況に置かれた役場の中で、自発的に業務支援を行ってきました。私が主に担当していたのは罹災証明書発行の窓口業務でしたが、自分の所轄業務にとらわれることなく、窓口いらっしゃる住民の方からの質問や相談に丁寧に答え、担当に繋ぐことを心がけていました。

もう一つは、国の職員として、国と町を直接に繋げるパイプとしての役割です。町役場に集積される町民からのニーズを吸い集め、国へ直接伝えるとともに、国からの支援施策やプレス発表をいち早く町役場へ伝えることがとても大切です。通常の業務の中で町民の声を聞き、日報等を通じて災害対策本部へ伝えるとともに、町幹部と災害対策本部の職員との会議に出席し、町の現状の課題や今後の復興についての議論を行いました。

## 4. 所感

地震による被害、津波による被害、そして原子力発電所の事故に伴う避難、まさに「三重苦」に見舞われている広野町の現状は、筆舌に尽くしがたいものがありました。私も広野町の様子を見学させて頂きましたが、震災からの復旧に膨大な時間がかかることを改めて痛感すると共に、悲観することなく立ち向かっていかなければならないとの思いを強くしました。

いわき市での役場業務が立ち上がったばかりということもあり、日々の業務対応に追われているうちに、いつの間にか派遣期間が終わってしまっていた、という印象を受けました。それだけ集中して取り組むことができたというこ

とでもありますが、あくまで派遣職員の立場での業務に集中してしまい、国の職員としての立場で、町への協力が十分にできなかったとの思いが強くなります。国の職員としてもっと広い視野を持ち、町の長期的な復旧・復興計画に対する貢献があと少しでもできれば良かったと感じています。

二週間の災害派遣を通じて最も印象に残っているのは、町役場で働く職員の方々の働きぶりです。自身も被災者であり、避難を余儀なくされている身であるにもかかわらず、昼夜や土日・祝日を問わず町の職員として働き、時には住民の方からの厳しい叱責を受けながらも、「いつの日か必ず町に戻り、町を復興させる」という強い意志を持って、職務に邁進している姿に感銘を受けました。公務員とは何か、を考えさせられる大変貴重な経験でした。

## 5. 終わりに

震災から約半年が経過しようとしている今もなお、被災地の皆様は復旧・復興に向けて前を向いて取り組んでおられます。二週間という大変短い期間ではありましたが、被災地の現場で働いた経験は一生忘れられないほどの強烈な経験となりました。派遣の任は解かれましたが、これからも被災地の復興のためにできる事があれば何でも協力していきたいと考えております。

最後になりましたが、現地自治体で働く職員の皆様、現在派遣されている職員の皆様のご健康とご無事をお祈りすると共に、小官の派遣業務に尽力してくださった、全ての方々に御礼を申し上げます。

## profile

三森 雄介 (みつもり ゆうすけ)

2007年4月 特許庁入庁  
(特許審査第四部映像機器)

2011年4月 審査官昇任  
(特許審査第四部映像システム)